

那珂市議会 産業建設常任委員会記録

開催日時 令和3年11月4日(木) 午前10時
開催場所 那珂市議会全員協議会室
出席委員 委員長 大和田和男 副委員長 小池 正夫
委員 石川 義光 委員 花島 進
委員 木野 広宣 委員 福田耕四郎

会議事件説明のため出席した者の職氏名

副市長 谷口 克文 建設部長 今瀬 博之
都市計画課長 渡邊 勝巳 都市計画課副参事 宮永 慎也
都市計画課課長補佐 金田 尚樹 開発指導室長 黒川 耕二

職務のため出席した者の職氏名

議長 福田耕四郎 事務局長 渡邊 荘一
次長 横山 明子 次長補佐 三田寺裕臣

会議に付した事件

- (1) 都市計画道路菅谷・飯田線について
…執行部より説明を受ける。

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午前10時00分)

委員長 皆さん、おはようございます。

本日は、お忙しい中、産業建設常任委員会にご参集賜りありがとうございます。先日、31日まで行われました衆議院議員総選挙、大変お疲れさまでございました。当選挙区では梶山先生が当選ということで、我々産業建設常任委員会でも選挙でもそう叫ばれましたが、道路行政等、非常に訴えておられました。那珂市も非常に重要な選挙だったのではないかなと思います。そういった中で今回、那珂インターチェンジ周辺の開発ということで国道118号及び都市計画道路についての勉強会も含めて皆さんで共有して、執行部からも包み隠さず情報提供していただいて、議員の皆様からも忌憚のないご質問のほうを受け付けてまいりたいと思います。

それでは、開会前にご連絡いたします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、委員会出席者並びに傍聴される方につきましては、マスクの着用、また入り口付近に設置してあります消毒液において手指の消毒をお願いいたします。また、換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言は、必ずマイクを使用し、質疑・答弁の際は、簡潔かつ明瞭

をお願いいたします。携帯電話をお持ちの方は電源をお切りいただくか、マナーモードにしてください。

ただいまの出席委員は6名であります、欠席委員はありません。定足数に達しておりますので、これより産業建設常任委員会を開会いたします。

会議事件説明のため、副市長ほか関係職員の出席を求めています。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 おはようございます。

今、委員長からお話がありました都市計画道路事業についてということでございます。衆議院議員選挙も終わりました。また、新型コロナウイルス感染症も大分落ち着いてきているというようなことで、第6波ということもいろいろとお話を聞きますけれども、執行部のほうでは引き続き感染拡大防止、こういうことにもご尽力を賜りたいというふうに思います。

今日の案件は、都市計画道路でございます。これ選挙戦でも私も言葉に出して訴えました。地元の方もまだここまでは分かっていないですね。飯田地区の皆さんも。私のほうで言ってどうなのかなと思ったんですが、いずれ戦いですから、選挙は。私も、いいことはやはり公表してもいいのかなというようなことで、この道路に関しては言葉に出させていただきました。測量という段階に入っているというようなことも記載されております。那珂インターチェンジ周辺の開発という意味でもこの道路というのは重要な路線であると思いますので、担当部署におかれましてはひとつよろしくをお願いをしたいと思います。

今日は、正副委員長の下で慎重なご審議、また知っている範囲で執行部のほうも答弁については明朗な答弁をお願いをしたいなど、こういうふうに思いますので、よろしくをお願いいたします。ご苦労さまです。

委員長 ありがとうございます。

続きまして、副市長よりご挨拶をお願いいたします。

副市長 改めましておはようございます。

委員の皆様方におかれましては、産業建設常任委員会へのご出席、誠に御疲れさまでございます。

ただいま議長からもお話がありました新型コロナウイルス感染症についてでございますけれども、大分落ち着いてきている状況にあるのではないかなと考えております。国のほうからは3回目の接種というなお話も出ているような状況でございますが、那珂市としましては油断することなく、今後も対応してまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本日は、都市計画道路、菅谷・飯田線についてご報告させていただくものでございます。

どうぞよろしくご審議のほどお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

委員長 ありがとうございます。

それでは、これより議事に入ります。

本委員会の会議事件は、別紙会議次第のとおりであります。

それでは、都市計画道路、菅谷・飯田線についてを議題といたします。

現在、複合型交流拠点施設「道の駅」整備の実現に向けた市場環境調査について、全員協議会で報告を受けております。道の駅整備に合わせて都市計画道路、菅谷・飯田線の整備計画があることから整備計画について説明を受けたいと思います。

それでは、執行部よりご説明をお願いいたします。

都市計画課長 都市計画課、課長の渡邊でございます。ほか5名が出席しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、座って説明させていただきます。

都市計画道路、菅谷・飯田線道路整備事業についてご説明をいたします。

お手元の常任委員会資料をご覧ください。

初めに、事業の概要でございます。

本事業は、常磐自動車道、那珂インターチェンジと国道118号を結ぶことにより、本市が担う県北域の玄関口として機能増進、重要物流の円滑化、周辺観光地へのアクセス強化などの効果に大きく寄与するものとして都市計画道路、菅谷・飯田線の4車線化整備を図るものでございます。

現在、国道118号那珂大宮バイパスは、茨城県が西消防署付近まで整備中でありまして、今後さらに南下し、菅谷・飯田線までの区間の整備に向けて現地の測量を開始しているところでございます。このため、茨城県と市が同時に整備を進め、国道118号と那珂インターチェンジを4車線の道路で結び、早期に相互の整備効果を図られるよう進めるところでございます。

次に、今後の予定でございます。

本年度は、基準点測量と地形測量を実施しております。こちらは現在の状況、現況を測量しているものでございます。

今後の予定でございますが、令和4年、5年度に、予備設計や路線測量、地質調査等を行い、道路の法線や構造、事業費等を詰めていく予定です。また、これに併せまして地元の説明会を行い、ご理解をいただくというふうに考えているところでございます。

そして、令和6年から8年度にかけまして用地買収を行いまして、令和11年度末に供用開始を目標としているところでございます。

次のページをご覧ください。

こちらは、道路関係の位置図になります。

図面の左側、上下に通るところでございます。こちらが国道118号となります。現在、4車線の部分、上の部分、3,200メートルほど供用開始されておりまして、その下、1,500メートルに関して現在、整備中となっております。

点線の部分、こちらは今回ご説明いたしております菅谷・飯田線から西消防署までの間3,600メートル、こちらのほうが現在、測量を茨城県のほうで実施しているというところでございます。

また、図面の左下、赤い線であります。これが今回ご説明しております都市計画道路、菅谷・飯田線になります。事業区間といたしましては、延長2,200メートルとなります。ご覧のように双方が供用開始となれば、県北域の重要な位置づけとなり、交通、物流の重要な交通ルートとなるというふうに考えているところでございます。

説明は以上となります。よろしくお願いたします。

委員長 ありがとうございます。

現在のところ、このような状況ということで、これより質疑に入ります。委員の皆様、質疑ございますでしょうか。

花島委員 いくつも質問があるんですが、一遍に全部やると大変なので少しづつ。

まず、地籍調査は、この辺りの一帯はいつ行ったものがあるのでしょうか。要するに、実際に提示する場合に測量しなきゃならないというのは分かるんですけども、もともと地籍調査のデータがあるわけですよ。それとの突き合わせということになると思うんですが、その前の地籍調査のデータがより正確であれば次のステップに行くのも簡単だと思うのでお伺いしたいです。地籍調査の意味そのものも気になっていますので。

都市計画課長 飯田地区の地籍調査についてでございますが、現在、こちらの部分につきましては地籍調査は完了しておるといふふうに聞いております。

ただ、調査した年次につきましては、詳細な年次、記憶にありませんので、手元に資料がありませんので、正式なご回答ができないんですけども、こちらにつきましては完了しているというところは聞いております。

花島委員 完了しているのは分かっているんですよ。

ただ、問題は昔やって、データがかなり正確じゃないのと、比較的近年になってやって、精度の高いものとの違いがあるので、それを聞いたかったんです。それは後で結構です。

それから、この計画図の横断図案というのがある、これは既存の道路から比べるとかなり豊かな設計になっているかなと思うんです。特に、路側帯の部分が1.5メートルあって、なおかつ歩道の部分が両側に4.5メートル。私はジョギングしたり自転車のときに走ったりするんで、こういうのは非常に助かるんですけども、こういうふうな設定にした考え方というか理由というのはどういう考えなのかお伺いしたい。

都市計画課長 お答えいたします。

現在、菅谷・飯田線につきましては、幅員27メートルで都市計画決定をされておしま

す。当時のいきさつは記憶にしているところではないんですが、やはり4車線の道路を整備いたしまして、それに伴いましてそれに必要な路肩とか、あとは歩道は必要であるという形で27メートルという形の幅員を決定したというふうに認識しております。

以上です。

花島委員 それは半分は分かるんですけども、それにしても歩道が両側で4.5メートルというのは普通のその辺に見える道路から見たらかなり段違いに広いんで、ひょっとすると将来、両側3車線も視野に入れているのかと思うくらい広いんですね。それから、路側帯1.5メートルというのもそうですよね。まあ、いいです。細かい説明は後で機会があったらお願いします。

次の質問です。

直接こっちはじゃないんですが、この頂いた図の中でまだ日程に挙がっていない国道の整備計画、破線のほうがありますよね。これはどんなふうな位置づけなんですか。というのは、那珂インターチェンジから国道118号につながるとなると、現状だと、今計画、説明いただいているバードラインを通るルートもありますけれども、直接国道118号に行く道もありますよね、直角に入る。もし、この国道118号の整備がこの点線のとおりに行くとなると、那珂インターチェンジからつながる線がちょっと遠くなる。もちろん元の道も残るわけですけども。でも、すつと行けるいい道に行くは多分遠くなるということで無関係じゃないと思っているんです。その辺の事情というか、計画の現状というのが分かればお聞かせください。

都市計画課長 現在、国道118号なんですけれども、常陸大宮市から瓜連まで整備が終わっております。こちらについては基本、現道拡幅というような形で那珂市内のほうは整備をされているのですが、現在整備している瓜連の部分から旧那珂町の部分に入ってくる部分につきましては、バイパスという形で現在の現道ではなく違う路線で計画のほうをされております。

今回、点線で書かれているところなんですけれども、バイパスルートで東側に道路が振られてまいりまして、バードラインと国道118号がぶつかっている交差点にまたそこで改めて接続するというような形になりますので、位置的には現状のバードラインと国道118号の位置関係は変わらないという位置での交差点となります。

花島委員 すみません、言い方がよくなかったです。

赤い破線の部分じゃなくて、細い線で描いてある西側に移動する部分についてお伺いしたかったんです。これについていかがでしょうか。

都市計画課長 西側、要は水戸へ向かっての線ということですね。

花島委員 はい。

都市計画課長 こちらにつきまして、また別ルートで行きまして、最終的に国道118号に戻ってくるのが那珂湊・那珂線のところ、あの辺で戻ってくるような形で計画されております。

す。

花島委員 この点線で描いてあるけれども、かなり案として固まっているということですか。

その計画の日程とかは挙がっていないけれども、という意味で。

都市計画課長 現在、都市計画決定はされております。ただ、事業のほうはまだ認定をされていないというところでございます。

花島委員 那珂市がやる部分について、大体いくらの予算を想定しているのか、まずお聞きしたい。それから、それに関連してこれまでこういう道路事業をやっていて、最初の想定した予算と実際にかかった予算にどのくらいずれがあったかどうか、その2点をお伺いしたいんですが。

都市計画課長 お答えいたします。

現在、こちらの路線につきましては、一般質問等の中でおおむね20億円という形が示されているかというふうに記憶しております。ただ、これから来年度以降、路線測量とか地盤調査等を行ってまいりますので、その状況によっては事業費が変動する可能性があります。

ただ、現状の中で、先ほど次の質問の中でいくぐらい変動するんだというのがあったところなんですけれども、これはやはり現況の地盤によりまして大きく変わりますので、これは調査をしてみないと言えない部分がございます。

ただ、当初予定している金額よりも変動する可能性はあるというところで今考えているところです。

花島委員 変動するのは分かっている、ある面で承知なんですけど、その幅がこれまでの実績でどのくらいの幅があったかというのを聞きたいです。例を挙げていただいても結構ですけども、もし頭にあれば。

都市計画課長 例としてなんですけれども、基本的に今のところ那珂市で置いている都市計画道路は比較的、現道拡幅というのがないものが多いんです。新しく路線を造る。ましてや市街化の中ですと現道拡幅という事例もあったんですが、今回のような調整区域の中で田んぼの中に行くというのは、ほとんどが現道を利用せずに新しい道路を整備しているものが多い部分です。今回の部分は現道拡幅が主なものになりますので、事例として参考になるものがないというのが現状でございます。適切な回答じゃないかもしれませんが、申し訳ありません。

花島委員 最後の質問です。

道の駅も計画されているわけですが、普通、議会としては両方一体で提案、話は同時にするかもしれないけれども、予算なり何なりとしては別に提案されますよね。片方の道の駅に批判的な声があって、そちら側がバツになるとか、あるいは大幅に縮小されるという場合、この計画もこのまま考えていいでしょうか。その位置づけによるんですよね。道の駅があろうがなかろうが、この道というのは考えによってはひたちなか市方面と県

北を結ぶラインとして重要だという位置づけもありますから、その辺の今の考えをお聞きしたい。

都市計画課長 都市計画課のほうで今回の都市計画道路整備を担当しているところでございます。

こちらの道路なんですけれども、先ほどもご説明させていただきましたが、那珂インターチェンジと国道118号を4車線化で結びまして、さらに県北域への物流等のアクセスに重要な路線と認識しております。ですので、那珂インターチェンジの周辺の開発だけではなく、先ほど花島委員おっしゃいましたけれども、ひたちなか市との重要なアクセス道路ということも位置づけもありますので、こちらの整備につきましては、粛々と進めていくというふうに考えております。

以上です。

委員長 それでは、ほかの委員の皆様ございますか。

福田委員 幅員が27メートル、これは両サイドに歩道4.5メートル。そうすると、用地買収なんかはまだ先のことだろうと思うんですが、那珂インターチェンジ方向からいって、ちょうど中間地点の信号がある都市計画道路、城里・那珂線、いわゆる農免道路の右側というのは結構用地はあるような気がするんだけど。これはこれからの段階なんだろうと思うんですが、両サイドに拡幅の計画というか、測量をしているんですか。

都市計画課長 現在行っている測量は、あくまでも現状、現況を見ている測量ですが、先ほど議長おっしゃいましたように両サイドに拡幅するののかということにつきましては、法線がまだ確定をしておりませんので、用地買収によっては右側に路線を集中的に買うのか、左側に集中的に買うのかというのは今後可能性はあるかと思えます。

ただ、家屋があるところにつきましては、極力家屋にかけないような形で都市計画決定されておりますので、その辺を踏まえながら現状の測量を今進めているところでございます。

福田委員 例えばJAがある辺りは、かなりですからそれは分かる。その先のほぼ直線道路の右側というのは、あれは市有地になっているのかな。あそこに用水路があるんだけど、結構あそこは広がっているんじゃないかな。市有地と違うのかな。

都市計画課長 田んぼ際の部分だと思うんですけども、そこは管理用道路が入っている場所もございます。ですので、その辺が用地があるようになっているのかなというふうに思うんですが、どうしてもやはり田んぼとの出入り、高さがあったりなんかしますと、管理用道路という形では場整備のほうで整備している可能性もありますので、これにつきましては、今後調査等を進めていく中できちんと確認をしていきたいというふうに思っております。

福田委員 それは別に問題はないんだ。

都市計画課長 今回4車線の道路の整備となりますので、こちらの図面にもありますけれども、

中央分離帯ができてまいります。ですので、農業の耕作者の方々が道路を簡単に横断できなくなる可能性がありますので、それについては管理用道路というのは、残していくような方法は取るというふうに考えております。

福田委員 これに関連するから質問したいんですが、城里・那珂線が加わる。そうすると、城里・那珂線の場合、那珂市側というのはもう全て整備は終わったんですか。

都市計画課長 お答えいたします。

那珂市分としましては、那珂西大橋から国道118号まで、これが県道の部分になりますので、ここについては整備が終わっているというふうに聞いております。

福田委員 実はこの幹線も大事な道路だと思うんですよ。残念ながら、城里町のほうが一番のはずれ。通称、十万原というのかな、十万原のところから県道何線だったかな、そこまでの約2キロメートル区間が全く整備がされていないんですよ。あそこを通っている人はよく分かると思うんですけども、十万原の中へ入って、どっちへ行って抜けていくのかなというのが全く分からない。これは那珂市のほうはあまり関係ないのかな、あれは。

建設部長 現在、その道路につきましては、城里町が事務局になりまして協議会があります。

那珂市分につきましては、もう完了しているんですけど、議長が言っているとおり、城里町部分がまだできていないということで、要望活動とかそういった形で動いてはいますけど、まだ現実的に残った部分が着手できていないというのが現状になっています。

ですので、事務局が城里町なんですけれども、県とか国のほうに要望していくということで、那珂市も会員になっていますんで、そういった形で動いていくということになります。

福田委員 実は、この間、この路線で会議があったんですよ。いろいろもめた。

副市長 はい、私も出席していました。

福田委員 よく分かっていると思うんですけども、県会議員のほうからいろいろあって、何か城里町そのものが消極的だというふうに私は受け止めたんですよ。

副市長 私も議長と一緒に出席してまして、上遠野町長も何とかあれをやりたいという熱心な感じで、事務局のほうも都市計画を変更して、県に認めていただきたいみたいなことをおっしゃっていたので、そこは熱心にやられているのかなと感じたんですけども。

福田委員 あれはもう大分たっている。本当に、我々の見解では、あまり問題がないような僅かな区間なんです。人家がそんなにあるかということ、あまりないですよ。強いて言えば、県道と、今回のその道路の交差する辺り、あそこが何軒かぐらいでそれほど問題になるようなあれはないと思うんですけども。私もたまにあそこを利用する一人として、最初行ったときには迷った。入っていけば行き止まり、どっちに行くのか、本当にクランクとか何ていうんだろうね。せっかく途中まで整備ができていて、あと僅かなところができないということ。これは城里町の首長をはじめ那珂市も加わっているわけですか

ら、あの辺についてはやはり協力体制を強化していただいて、ぜひあそこを早急な整備、それにご尽力を賜りたいなというふうに思うんです。よろしく願います。

副市長 議長、ありがとうございました。

確かに、あそこについては県会議員の先生も熱心に県に対して要望していただいたところでもありますので、城里町長をはじめ3市併せてお願いしていきたいと考えております。

福田委員 願います。

そうするというと、那珂市側は別に問題ないですね。分かりました。

委員長 それでは、ほかにございますか。

(なし)

委員長 私から1つ。

道の駅、どこにかかるということは候補地、一番初めに二、三か所ぐらい出ていたと思うんですけど、今からどこに道の駅とは言いませんね、どこにできるのかというところなんですけれども、何か道の駅というのは幹線道路のところにはやはりつけないなんていう話を聞いたもので、そうなってくるとこうやって4車線化すると候補地という場所は決まっているんだろうという話になりかねないのかななんて思ったりもするんです。そういったわけでそこら辺どうなのかなというところと、そうであれば何度も言われている、後台側の県へ移管するというのを同時に進めていくのが、やはりそういった目線からもどうなのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

副市長 議会に対してまだどこにやるという場所はまだ決まっていないということで今調査を行っているわけですが、その調査の結果についてもまとまり次第、議会のほうに報告させていただきたいと思っております。

福田委員 副市長、今回のこの都市計画道路、今後の予定、計画を見ると、道の駅のほうが早いかな。これは令和11年ぐらいの予定なんでしょう。我々、市長から聞いているのは、道の駅はもっと短期間で整備をいたしますということは、各委員聞いていますよね。5年ぐらいの計画のようなことを言っていなかったですか。

副市長 まだ場所も確定していないものですから何とも言いようがないというところがございます。

福田委員 どちらかといえば、道路がライフラインが先と違いますかね。その辺、そういう兼ね合いもあるでしょうけれども、これを見ると、令和11年あたりが予定されている。道の駅はもっと短期間でということですから、やはり早急に進める必要がありますね。もうちょっとスピード、これを持った整備を我々は望みたいですね。よろしく願います。

副市長 お話ありがとうございました。やはり国、それから県からの補助金とそういうものも必要になりますので、その辺、要望活動をしながらできるだけ早くできるような形で進めていただくように要望してまいりたいと考えております。

委員長 よろしくお願いいたします。

福田委員 今回の総延長で2.2キロメートル、この費用というのはどれぐらいかかるんですか。

都市計画課長 お答えいたします。

議会の一般質問等で既にお答えしている金額としては20億円という話をお話はさせていただいているというふうに聞いております。

福田委員 20億円、国からはどれぐらい。

都市計画課長 現在、補助率といたしましては55%を頂くという形で予定をしております。

福田委員 聞くところによると、今週あたり何か陳情か何かに行くんだって。

副市長 今週、11月2日の日に市長をはじめとして要望に行ってまいりました、県に対して。

この後、国に対してまた要望する予定でおります。

福田委員 ぜひ頑張ってください。よろしくお願ひします。

委員長 よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、本件を終結をいたします。

本日の議題は全部終了いたしました。以上で産業建設常任委員会のほうは、閉会をいたします。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会（午前10時36分）

令和4年1月18日

那珂市議会 産業建設常任委員会委員長 大和田 和男